

研究報告
(研究プロジェクト1)

プロジェクト報告 日体大とオリンピックの関わり

依田 充代 (体育スポーツ科学系)

はじめに

本プロジェクトは、①メダリストへのインタビュー、②資料の発掘、③アーカイブ、④オリンピック教育プログラム研究：日体大スタンダードで構成され実施された。

1. 日本体育大学を卒業したオリンピックメダリストに対するインタビュー調査（原稿依頼）及びオリンピックメダリスト関連資料の収集から、オリンピックレガシーの構築を目的に設定されている。

依田 充代、齋藤 雅英、波多腰 克晃、福井元、松浪 登久馬、亀山 有希、神田 俊平、富田 幸祐

オリンピックメダリストへのインタビュー項目（原稿依頼）は、以下の通りである。

- (1) 経歴
- (2) 競技との出会い
- (3) 日体大の思い出（選手生活の思い出）
- (4) オリンピックでのメダル獲得
- (5) その後の人生
- (6) 後輩に一言
- (7) その他

① 具志堅幸司氏への原稿依頼

担当教員：波多腰 克晃

② 外村康二氏への原稿依頼

担当教員：波多腰 克晃

③ 小西裕之氏への原稿依頼

担当教員：波多腰 克晃

④ 水鳥寿思氏への原稿依頼

担当教員：波多腰 克晃

⑤ 沖口誠氏への原稿依頼

担当教員：波多腰 克晃

⑥ 中瀬卓也氏への原稿依頼

担当教員：波多腰 克晃

⑦ 近賀ゆかり氏への原稿依頼

担当教員：依田 充代

⑧ 川澄奈穂美氏への原稿依頼

担当教員：依田 充代

⑨ 山本博氏への原稿依頼

担当教員：福井 元，神田 俊平

⑩ 藤丸真世氏への原稿依頼

担当教員：福井 元，神田 俊平

⑪ 谷亮子氏へのインタビュー依頼

担当教員：依田 充代

⑫ 中村大伸氏へのインタビュー依頼

担当教員：波多腰 克晃

⑬ 高山樹里氏へのインタビュー依頼

担当教員：波多腰 克晃

2016年度から始動した本プロジェクトは、日本体育大学を卒業したオリンピックメダリストを対象に原稿の依頼を行ってきた。現在、2020年度を一つの区切りとして、今後も継続的に日本体育大学のオリンピックメダリストに対して原稿依頼を行い、全てのメダリストの軌跡を記録するために、尽力していきたい。

2. オリンピック教育プログラム研究

依田 充代

本研究は2016年～2020年の5年間、全国の教育委員会でどのようなオリンピック・パラリンピック教育を行ったのかを明らかにすることを目的とする。このデータ収集は後世に残る貴重な資料となるため継続研究としている。

オリンピック終了後に、ご回答いただいた教育委員会に対して調査結果を分析し成果としてお返しする予定である。

3. 令和元年度「高等学校の体育理論にアンチ・ドーピング教育に関する研究」報告

近藤 智靖

2019年5月10日～18日にかけて、東京都市大学附属中学校・高等学校に在籍する高校2年生165名を対象に、体育理論の実験授業を実施した。テーマは「アンチ・ドーピング教育」として、ドーピングに関わる知識の指導及びグループディスカッションを通じて、ドーピングの現状や課題やオリンピックの理念等についての教育を展開した。

授業を通じて収集した各種資料を分析し、その結果を、2019年9月10日に開催された日本体育学会70回大会（於：慶応義塾大学）にて口頭発表した。さらに、一連の結果は、次号のオリンピックスポーツ文化研究に研究報告として掲載予定である。

（受理日：2020年3月31日）